

中古車を選びに VOLVO正規ディーラーへ 行こう

プログラム開始から10周年を迎えたボルボ アプルーブドカー システム。

充実した保証内容に加え、2004年4月より導入されている

“スター クオリティ(新車登録から1年/走行距離1万km以内の車両)”などが好評で、
着実にファンの数を増やしている。

今回はボルボ アプルーブドカー制度の概要と最新情報について紹介していこう。



取材協力:ボルボ・カーズ千葉中央 Tel.043-238-2005



Close-up! ボルボ アプルーブドカー

安全性と環境対策において世界を大きくリードするボルボ。実直なエンジニアリングのほか、ステーションワゴンのステイタスを大きく高めた“時代の先駆者”であること、さらにはシンプルで飽きのこない北欧デザインが貴かれていることから、老若男女を問わず幅広い層から注目されている。そんな同車の、より賢い選択肢たるアプルーブドカーの魅力について、ボルボ正規ディーラー ボルボ・カーズ千葉中央の武蔵哲也支店長に話を訊いたので紹介しよう。

「ボルボオーナーは、休日にスポーツを楽しんだり、遠くまで出掛けるのが好きだったり、皆さんとてもアクティブです。そんなライフスタイルを、もっと鮮やかなものにするためにアプルーブドカーが選ばれているようです」

ボルボは一般的に高級車として認知されているが、様々なライバルとは異なり、決してこれ見よがしではないから、生活に根ざした上質でタフな実用車という見方もできると思う。だから多くのオーナーは、単純にブランドやステイタスシンボルとしてだけではなく、安心して使いこなせる道具であることにも魅力を感じているに違いない。

「活動的であっても、全員がVレンジ(エステー

ト)を必要としているわけではなく、Sレンジ(セダン)の指名も少なくありません。その多くの方はショルダーラインに溶け込んだテールランプの造形に魅せられているようです(笑)」

Vレンジに限らず、S40からXC90まで豊富にラインナップされているし、最初から予算を考慮しても幅広く選べて嬉しい、という声が武蔵さんの耳に届いている。そして心底惚れ込んでいるオーナーからは、親戚や友人にも薦めたいと相談されることがあるそうだ。

「一番の褒め言葉だと思っています。車両はもちろん、スタッフのことも信頼していただいているということですから、うれしい限りです」

ボルボはプログラムと並行して社内基準“認定中古車セールスパーソン制度”を設けており、スタッフは顧客に的確なアドバイスができるよう、金融も含めて様々な勉強をしている。つまり車両だけでなく、人も“認定”なのである。

「各拠点では、コンサートや愛犬家向けのイベントなど、様々な形で皆様の来場をお待ちしています。お気軽に最寄りの取扱店へお出かけ下さい」

Text:佐藤貴昭/Photo:丸山ヒロト

ボルボ アプルーブドカーの概要

対象車両:

新車登録から7年/走行距離7.5万km以内。
※このうち新車登録から1年/走行距離1万km以内の車両を“スタークオリティ”と呼ぶ。

保証期間:

1年間/走行距離無制限

保証内容:

エンジン、トランスミッション、駆動系など車両各部を保証。

点検項目:

43項目に及ぶ納車前点検/整備を実施(12ヵ月点検項目以上の整備内容)。
※スタークオリティには独自の基準を設定。

交換部品:

13品目(バッテリー、エンジンオイル、オイルフィルター、ドライブベルト、スパークプラグ、エアフィルター、ブレーキパッド、ブレーキオイル、ワイパーブレード、フロアマット、タイミングベルト、ポーレンフィルター、オイルフィルターキャップ)を摩耗状態により交換する。

※環境への配慮から、事前交換パーツに基準を設け、交換後間もない場合や所定の性能が問題なく発揮されることが明らかであれば、初期交換は免除となる。ただし保証期間中に問題が発生すれば無償交換される。



ボルボ認定中古車最前線

今回訪問した「ボルボ・カーズ千葉中央」の在庫の中からインタビューにも登場している武蔵支店長とともに、UCG読者にお薦めしたいボルボ アブルーブドカーを選んでみた。後ろ姿で見る人を魅了するというSレンジは必ず紹介しようと思っていたのだが、なんと取材前日までに全車売却済み。その代わりと言ってはなんだが、ちょっと希少なモデル4台を取り揃えた。

V70 Entry



新車登録から1年、走行距離1万km以内の基準を満たした“スター クオリティ”として展示されているV70のベーシックモデル。試乗用にショールームにて使われていたが、このほどアブルーブドカーとして販売されることになった秘蔵の1台である。

搭載されるエンジンは最高出力：170ps/6000rpmと最大トルク：22.9mkg/4500rpmを発揮する自然吸気の2.4ℓ5気筒DOHCユニット。V70シリーズの中で最も控えめなパワースペックだが、電子制御5段ATとの組み合わせで全長4710×全幅1815×全高1490mm、1570kgというボディを力強く走らせる。外装色はブラック系と人気を二分する“アイスホワイト”で、レザーシートやスライディングルーフなどがセットになったベーシックパッケージオプションが装着されている。

2005年式(06年モデル) 走行距離：8000km
車検有効期限：2008年12月 価格：367.5万円

取材協力：ボルボ・カーズ千葉中央 Tel.043-238-2005

XC70



希少色“バレンツブルーパール”を纏ったXC70。前後のサスペンションはベースとなったV70と共通だが、4WD機構の追加に加え、前後215/65R16という大径タイヤを収めてストロークを拡大するためにリアスプリングを伸ばし、最低地上高215mmを実現している。

ちなみにこの2006年モデルより4WDシステムが、停止状態でもあらかじめ80Nmのトルクを後輪に配分する“ブレチャージ式電子制御AWDシステム”に変更されており、滑りやすい路面での発進がより安定するようになった。

V70と印象がガラリと異なるのは高められた車高のほか、前後バンパーやフェンダーまわり、サイドドア下部に樹脂製カバーを与えているため。これに伴い、ボディは全長4760×全幅1860×全高1560mmへと若干拡大されている。冬期になると問い合わせが増えるそうなので、こちらもお早めに。

2005年式(06年モデル) 走行距離：8000km
車検有効期限：2008年8月 価格：384.3万円

C70 2.4T



1997年にデビューしたクーペ、C70の最終モデル。もともと輸入台数が少なく、アブルーブドカーとして販売されることも極めて稀だという。パワーユニットには最高出力：193ps/5100rpmと最大トルク：27.5mkg/1600～5000rpmを発揮するライトプレッシャーターボの2.4ℓ直5ユニットが選ばれている。デビューから10年近い時間が経過しているが、見慣れぬためか、今でもとても新鮮な印象が漂う。ずっと探していた人に購入して欲しい1台。



2001年式 走行距離：3.4万km
車検有効期限：2008年5月 価格：224.3万円

V70 2.5T



人気の“クロ”のV70 2.5T。ストップ&ゴーから高速クルージングまで快適にこなしてくれる2521cc低圧ターボユニット(最大出力：209ps/5000rpm、最大トルク：32.6mkg/1500～4500rpm)を搭載する。大排気量車のようなフィーリングが味わえるが、燃費と環境性能において大きなアドバンテージを持つ。V70と一番バランスが良い組み合わせのように思えるが、EntryとT-5 Sportsの2台に人気が集まっていて、流通量は意外と少ないようだ。



2003年式(04年モデル) 走行距離：4.4万km
車検：2年付 価格：344.4万円